

高次脳機能障がい “シナプス” ニュースレター

第19号 令和元年 8月発行

こんにちは。

本日は“シナプス”をお開き下さりありがとうございます。

私は平成31年4月から高次脳機能障がいの方々の相談をお受けしています

コーディネーターの黒木和代(看護師・介護支援専門員)と申します。

今日は皆様の「相談窓口」であります宮崎県障害者相談センターのご紹介や最近の活動状況などお伝えしたいと思います。



宮崎県身体障害者相談センターは **こんなところ!** です。

宮崎県身体障害者相談センターは宮崎県総合保健センター内にあり、身体障害者手帳の交付や自立支援医療(更生医療)の判定及び相談支援、補装具の判定や相談支援、言語・聴力・心理面の評価や相談支援、そして高次脳機能障がいの方々への相談支援等を、社会福祉士、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、臨床心理士等の専門職で担っている宮崎県の機関です。

高次脳機能障害の支援について

高次脳機能障がいに対する政策は、交通事故後遺症の問題が社会的に高まったことを契機に5年間のモデル事業を経て、平成18年から本格的に「支援普及事業」として全国で始められました。そして、平成25年に、言語障害等の関連障がいも含めた「高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業」と改称し進められています。

本県では、「相談窓口」を身体障害者相談センター内に開設、平成22年には「総合相談支援拠点機関」に認定して現在に至っています。医療的支援については、宮崎大学医学部附属病院を拠点病院として、各地域に19の協力病院を認定しています。

*これらの情報は「リーフレット」でご案内しています。お気軽にご請求ください。

最近見聞しましたこと

- 1つ 先日受講した「支援普及事業」の概要の講義で、平成30年度からの第7次医療計画/多様な精神疾患に対応できる医療連携体制の構築に向けた医療機能の明確化において、精神疾患等に「高次脳機能障がい」が明記され、活気的なことと紹介されました。
 - 2つ 障害者就労については、「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構」が主導していますが、平成30年度からの第4次中期計画に於いて、重点的に支援する対象として新たに「高次脳機能障がい」が明記され、本県でも協議会が開催されています。
- 一方 高次脳機能障がいの方は、外見からは分からず理解されにくい・誤解されやすい等の問題や急性期医療の後の医学的リハビリテーションが不十分、更に社会復帰が困難な現状

など大きな課題があります。

***しかし、社会はそれらを認識しつつあると感じます。制度改正もその1つといえると思います。**

先日の講義でも主要症状の1つ「社会的行動障害」を取り上げたものが多くありました*

家族会(あかり)の“力”

本県の家族会の名称は「あかり」です。

毎月第3土曜日午後に(まれに変更あり)開会されています。

“守秘すること”を約束に色々な話をする中で、皆様「気持ちが楽になる」と言われます。

そう言わしめる“力”を持っていると感じます。

連絡先 Tel:090-6421-1192 e-mail:akari.kazokukai@ymobile.ne.jp

4月からの活動状況

私は、月～金 9時～15時50分に勤務、日常的には相談支援が主な業務です。

4月～7月の高次脳機能障がいの方々からの相談件数は56件で相談内容区分上は91項目、

1回の相談で平均1.6項目の相談をお受け致しました。

内容区分の上位は、確定診断に係ること、相談後の経過報告等、医療機関選択、支援制度に

係る問い合わせでした。相談につきましてはお気軽にご連絡頂きたいと思います。

訪問

6月・7月は、協力病院5つ(日向入郷圏域と西都児湯圏域)と精神保健機関2つに「現状の把握や関係づくり」を目的に訪問させて頂きました。

どちらさまもところよくお迎え下さりありがとうございました。「顔と顔の見える関係」は大切だと思いますのでこれからも課題と捉えています。今後ともよろしくお願い致します。

会議

6月26日は、埼玉県所沢市 国立障害者リハビリテーションセンター主催の会議2つ、①高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、②高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議に参加致しました。

5月、7月には県内で開催の会議にも参加致しました。

会議は、福祉関係業務や自立支援に係るもの、就労に係るもの等でした。

家族会参加

毎月の家族会に参加させていただいています。

研修

6月23日は東京都での研修、6月27・28日は埼玉県所沢市での研修に参加致しました。23日は4テーマ、27・28日は10テーマの講義を受講しました。

講義を受け、高次脳機能障がいの方々への支援について知識や知恵、更に他県の支援体制等を知ることができ参考になりました

27・28日の研修会主催の国立障害者リハビリテーションセンターは国の拠点機関です。

研修会はリハビリテーション学院で開催されました(写真)。

研修実施は「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業」の1つで、高次脳機能障害情報・支援センター(併設)が担っています。



広報活動

行政的診断名である「高次脳機能障害」は平成 18 年以降の概念であり、まだまだ周知されていない状況です。

まず「知って頂くこと」が重要と考え、これまで会議や研修会等の機会 26 の場に於いてリーフレット等を用いてご案内、今後も継続のつもりです。

講演等も良い機会と考えています。5 月には会議の延長として、市町村身体障がい者福祉関係業務担当者を対象に話をさせて頂きました。

なお、本年度、主催の講演会は **11 月 28 日(木)**と**令和2年 1 月 31 日(金)**午後
県総合保健センターで開催することを計画しており、ご案内予定です。

多くの方にご参加いただくと幸いに思います。

お問い合わせ先

宮崎県身体障害者相談センター 担当:黒木 電話0985 - 29 - 2556

編集後記

就任後初めての“シナプス”ニュースレターを発行致しました。

就任 4 ヶ月を経て色々な学びをする中で自身の「責務」を自覚しているところがございます。担当者の活動状況をお伝えするのも責務の 1 つと考え、本ニュースレターではそれを焦点と致しました。

どうぞ、高次脳機能障害支援コーディネーターの役割を知って頂き、お気軽にご連絡いただければ幸いに存じます。

(文責:黒木)